

平成28年度活動報告書

目次

はじめに 中野 会長 挨拶

I 地域情報化の推進活動

- I・1 地元企業間連携(コラボ)による県事業の推進
- I・2 長崎県 ICT 化推進化連絡会議
- I・3 東長崎エコタウン協議会
- I・4 長崎県IT融合化推進協議会
- I・5 IoT & 自動運転ビジネス化推進ワーキンググループ
- I・6 長崎県/長崎市 IoT 推進ラボ
- I・7 ながさき ICT 戦略研究会(長崎県)
- I・8 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部)
- I・9 長崎県サイバーセキュリティ研究会
- I・10 長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム、ワーキンググループ
- I・11 長崎県 H28 年度地域創生人材育成事業「企業説明会」
- I・12 長崎県工業連合会
- I・13 長崎県中小企業団体中央会関連

II 交 流 事 業

- II・1 海外との交流事業
- II・2 他団体・大学等との交流事業
- II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会
- II・4 通常総会・講演会・交流会
- II・5 我が社の一押し
- II・6 ビジネスコラボ事業
- II・7 IPA 第 11 回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」協会会長賞授与

III 研修事業

- III・1 研修事業(長崎県後援)
- III・2 JISA 補助金による研修
- III・3 Java アプリケーション技術者養成研修を実施(受託事業)
- III・4 九州経済産業局 九州・沖縄地方成長産業戦略PJ「軽量 Ruby 技術研修」
- III・5 「i(アイ)コンピデンシ デイクシヨナリ・ワークショッブ(iCD-WS)」(中小企業向け IT スキル標準)
- III・6 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナー

IV 人材高度化能力開発事業(助成金受給支援事業)

V 情報収集提供事業

VI 講演・セミナー事業

VII 理事会(役員会)

平成 28 年度活動報告書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

はじめに

平成28年度の我が国経済をみると、各経済政策(アベノミクス)の取組みの下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いています。ただし、年度前半には海外経済で弱さがみられたほか、国内経済についても、個人消費及び民間設備投資は、所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状況となっています。

長崎県の景気は、全体として緩やかな回復基調を続けており、雇用・所得環境をみると、労働需給は緩やかな改善が続いています。また、名目賃金が前年比増加したことから、雇用者所得は増加しています。平成28年度は、新たな総合計画がスタートする年であり、先行する「長崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する施策に積極的に取り組むとともに、「長崎県総合計画チャレンジ 2020」に掲げた基本理念や5つの将来像の実現に資する施策に重点化を図りながら、戦略的かつ分野横断的な取組みが推進されました。

当協会の活動においては、重点事業として取り組んでいる研修事業を、会員皆様の課題・ニーズをお聞きしながら計画を立て実施しました。実施にあたっては、厚労省の「キャリア形成促進助成金制度」を、会員皆様に積極的に紹介し、活用して頂きました。皆様方には IT 業界における重要な経営資源の柱として、人材育成の重要性をご認識され、熱心に受講して頂きました。会員企業様の多忙な業務の中、目標の200名を超える242名の方に受講して頂きました。さらに、JISA 補助金による「地域高度 IT 技術者育成事業」として2講座 25名を加え、合計267名の方に受講頂きました。会員の皆様に重ねて厚くお礼申し上げます。

次に、情報提供事業では、関係団体(ANIA、JISA)、他団体、大学、行政と連携しながら有益な情報をホームページやメールで皆様にお届けしました。

長崎県における先進的ビジネス創出と事業化を目指し、「IoT & 自動運転ビジネス化推進ワーキンググループ」を立上げ、勉強会を継続して開催してきました。また、経済産業省が推進する「地方版 IoT 推進ラボ」に、長崎県、長崎市がそれぞれ選定され、その活動を推進するため、それぞれの研究会に積極的に参加し、県内の企業様のお役に立てるよう鋭意活動中です。

また、2ヵ月毎に実施していますビジネスコラボ会には、協会役員のみならず一般会員の方々も参加され、お互いに親交を図り信頼感を醸成して、ビジネスの協業へ発展し成果を上げておられる例もあります。

さて、全国各地にはそれぞれ地域情報産業の組織があり、その連合組織として全国地域情報産業団体連合会(全情連:ANIA)があり、当協会も加盟しております。ANIA では毎年、全国大会を各地で開催し、H29年度はH6年以来23年ぶりに長崎での開催が決定しました。H28年度には、会長を委員長とする「実行委員会」を立上げスローガンを“ICT で地方創生、ふたたび出島から！”と決定し準備を進めて参りました。長崎での開催は、世界遺産登録・世界新三大夜景・推薦中のキリシタン関連遺産等関心が高く、全国から多くの IT 関連の方々に参加されますので、良い交流の機会となります。この開催を通じてNISAの活動を地元の方々にも知って頂く良い機会であり、会員拡大にもなることを期待しています。また、会員企業様が一致団結する機会にもなりますので、今年の秋の開催に向け準備を進めて参ります。

平成 28 年度に賜りました皆様のご支援・ご協力に改めて感謝しご挨拶と致します。

一般社団法人 長崎県情報産業協会
会長 中野 一 英

I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けての取組みや施策への提案を行い、県事業へ参画し成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

I・1 地元企業間連携(コラボ)による県事業の推進

県内中小製造業の事業効率化に向けた「ITを活用した産業競争力強化支援事業」が設定され、中小企業向けシステムの開発、およびITを活用した高齢者生活支援などの支援事業に参画し推進する。

「ITを活用した産業競争力強化支援事業」(予定期間:H26年度～H28年度の3年間)

(1) 県内中小製造業の情報化支援

NISA組織の「長崎県ICT化推進連絡会議」が推進する「地域連携事業」の活動の一環として支援活動を行った。

1) **事業内容:** H28年度はシンクタンク(富士通総研)に事業持続性調査が委託された。

県内中小製造業に対する「長崎県版生産管理システム」を核としたNISA会員企業4社による本格的ビジネス展開を始めるに当たり、本事業完了後も情報関連企業による持続的な自走ビジネスとなることが期待され、今後のロードマップや中期的なビジネススキーム、トレンドとなっているIoTへの対応について報告された。

2) **事業持続への展開:**

i) 長崎県版生産管理システムのIoT対応プロジェクト創出

加工(機械・製缶・複合)を対象とした長崎県版生産管理システムは着実に受注に繋がりがつあり、今後もビジネスの獲得に合わせてシステムを着実に拡充していくことが確認できた。

現在、県内でも製造業をはじめとする各産業界へのIoTへの対応は喫緊の課題となっている。

しかし、産業界IoTビジネスへの関心はまだ低く、また、IoTビジネスに必要とされる能動的な営業活動が行える人材が不足している中、このままではIoT化への対応が進まないことが予想される。

この状況を打破するためには、問題意識の高い情報関連企業が中心となり、国の補助金などの活用を見据えて長崎県版生産管理システムをIoT化するべく、プロジェクトを立ち上げることで、ビジネス創出を兼ねてIoTに取り組む環境づくりが求められる。

ii) 人材育成

県内情報関連企業による県内中小製造業への自立的なビジネス展開を行なうためには、業務知識を習得することは当然ながら、営業スタイルの変革、IoTビジネスへの対応など、多岐な対応が求められる。

そこで、各情報関連企業の経営者において危機感を共有するとともに自社内だけではなく、情報関連産業全体として人材育成に取り組むことが必要である。

3) **参加企業:** 会員企業4社

4) **活動:** 本事業の推進として、長崎県ICT化推進連絡会議がJISAと進める「地域連携事業」の一環として、活動した。製造業向け共同利用システム仕様をカバーする県内企業の開発済みで中小製造業向け「長崎県版生産管理システム」を県内製造業にアプローチした結果、製造業を中心とした7社での導入、運用が開始された。

I・2 長崎県ICT化推進連絡会議

JISA補助金による地域活性化事業のうち、「地域連携事業」の一環として、県・長崎工業会・NISAを中心としH24年度に設立した。

この事業を通して、地域におけるベンダー・ユーザー・ITコーディネーター・行政機関等が連携する仕組みを構築し、地域IT化のためのプロデュース及びコーディネートの機能強化を図り、地域自らが「自立自走」の精神でITの「地産地消」を実現する。

また、長崎県における中小企業の情報化推進が経営の改善に大きく役立つとの認識とともに、現状業務の効率化の達成が重要課題である。

(1) 目的

ICTユーザー・団体、ICT企業・団体、官公庁、金融機関が一体となり交流し、変革を推進することで各々の競争力を高め地場企業の発展に貢献する。

(2) 活動

県内中小製造業の事業効率化に向けたICT化を推進する。

「ITを活用した産業競争力強化支援事業」である県内中小製造業の情報化支援の中で、生産管理システム構築についてNISA会員企業が参加し活動を行った。《参照: I・1 (1)》

I・3 東長崎エコタウン協議会(敬称略)

(1) 目的

長崎県内の産官学が有する環境・エネルギー関連技術と、東長崎地区のインフラポテンシャルの活用に積極的に取組むとともに、会員相互が連携を図り、地域特性にあった再生可能エネルギーや電気自動車の普及、スマートグリッドシステムの構築を東長崎地区に先導的に誘導し、持続可能な社会の実現、安全・安心・快適な町づくりを目的とし、地方創生に貢献する。

(2) 事業

目的を達成するために、会員が連携して行う次の各号に掲げる事業の調査・研究・実証の支援および実施を行う。

- 1) 住宅用太陽光発電、LED の普及
- 2) メガソーラー(大規模太陽光発電)の設置
- 3) バイオマスプラント(下水汚泥、木質系他)
- 4) コジェネ・蓄電技術の導入
- 5) 電気自動車の普及と急速充電施設の設置
- 6) スマートグリッドシステムの開発・構築
- 7) 持続可能で安全・安心・快適なまちづくりのための事業
- 8) その他協議会の目的を達成するために必要な事項

(3) 役員(会長、副会長)

会長	田中 義人	長崎総合科学大学 副学長 新技術創成研究所長
副会長	佐藤 康彦	システムファイブ(株) 代表取締役 (NISA 副会長)
	宮原 和明	(一社)おひさま Net ながさき 理事長

(4) NISA 会員の参加

(株)NDKCOM、(株)MHPS コントロールシステムズ、扇精光ソリューションズ(株)、九州教具(株)、協和機電工業(株)、システムファイブ(株)、(株)ドゥアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、(株)ビーオルグ、富士通(株) 長崎支店、および NISA として参加

(5) 部会

- 1) 東長崎地域資源活用部会(部会長: 吉田博久、副会長: 江藤春日)
- 2) 東長崎街づくり部会(部会長: 宮原和明、副会長: 佐藤康彦)

(6) 活動

- 1) 講演会 H28-8-2(火)
「東長崎エコタウン構想推進: ゼロエミッションを目指して
～東部下水処理場におけるメタン発酵残渣肥料化の実証～」
長崎総合科学大学 大学院 新技術創成研究所の大場和彦教授
- 2) スマートコミュニティ・フォーラム in 長崎 H29-3-17(金)
基調講演: 「みやま市のエネルギーの地産地消に向けた活動」 福岡県みやま市 渡邊満昭
パネルディスカッション: テーマ『東長崎地区における「スマートコミュニティ」の今後の展開について』
コーディネータ: 宮原和明(協議会 副会長)
パネラー: 福岡県みやま市 渡邊満昭、(株)谷川建設 田中誠治、協議会会長 田中義人、
長崎市地球温暖化対策実行計画協議会 早瀬隆司(協議会 幹事)

I・4 長崎県IT融合化推進協議会 (ES-Nagasaki) (敬称略) : 会長 佐藤 康彦

長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)は長崎県内の産学官が一体となり、また、九州域内の関連団体・企業と連携し、県内における組込みソフト技術の向上とこれに関連する地域企業の振興を支援すべく、H22年6月に結成、活動を開始した。

(1) 目的 県内企業での新事業への進出や事業拡大の支援を推進する。

- 1) 地元企業でのビジネスチャンス実現に向けた支援
- 2) 企業による県等の補助金申請書作成への支援
- 3) 関連情報の提供とパートナーの紹介
- 4) 長崎県内/九州域内のネットワークを通じた支援

(2) 関連団体

長崎県、長崎市、長崎総合科学大学、九州IT 融合化システム協議会(ES-Kyushu)、(一社)長崎県情報産業協会(NISA)、西九州組込み技術コミュニティ(NET-C)、東長崎エコタウン協議会(ENEC)

(3) IT 融合化講演会 H28-12-1(木)、13:30～17:30、ホテルセントヒル長崎

- 1) 基調講演 : 「AI～ビッグデータ～IoT の動向」

- 講師：(NTT メディアインテリジェンス研究所 所長 小澤 英昭
 2) 関連講演 3 テーマ、およびパネルディスカッション
 《詳細は P.18、VI 講演・セミナー事業(2)、4) を参照》
 3) 聴講者：80 名(会員 34 名、非会員 46 名)

I・5 IoT & 自動運転ビジネス化推進ワーキンググループ (敬称略)

IoT は大きなビジネスチャンスの可能性を秘めており、NISA として、IoT および長崎県他が推進する「長崎公道自動運転プロジェクト」は何れも同様の技術領域であるので、事業化を推進するために「IoT & 自動運転ビジネス化推進」ワーキンググループを立ち上げた。

また、長崎県および長崎市においても、経産省の「地方版 IoT 推進ラボ」のそれぞれ「長崎県 IoT 推進ラボ」、および「長崎市 IoT 推進ラボ」として選定され、長崎県・市と連携しながら地域でのビジネス創出への検討を行う。

(1) 研究グループ

G1: IoT & ビッグデータ 研究グループ・・・[IoT システム基盤、ネットワーク基盤、データベース基盤の研究]
 グループ長：佐藤 康彦(副会長)

G2: ビッグデータ & AI 研究グループ・・・[データ分析、機械学習(ディープラーニング含む)、AI 活用基盤の研究]
 グループ長：中野 一英(会長)

(2) 参加メンバー

【会員】 アイティースペース(株)、(株)NDKCOM、オフィスメーション(株)、システムファイブ(株)、(株)ドウアイネット、(株)PAL 構造、不動技研工業(株)、(株)ユースフル、(有)ランカードコム、リコージャパン(株) 長崎支店、NISA 事務局

【会員外】 長崎県海洋・環境産業創造課 グリーンニューディール推進班、長崎県企業振興課 新事業支援班、(公財)長崎県産業振興財団

(3) 活動

1) セミナー

i) VR 体験、勉強会 H29-1-20(金) 講師：長崎大学先端計算機センター 准教授 濱田 剛

ii) 長崎県自動運転セミナー H29-3-15~17 講師：長崎大学先端計算機センター 准教授 濱田 剛

① 自動運転の体験、および、自動運転ソフトウェア(Autoware)を使用した実習。

H29-3-15(水)、17(金) 大村湾サーキット

自動運転のレベルは 3: 手放し運転(目的地を決めて進路変更・右左折・停車・発車などの動きを自動で行えるようになった段階)。運転手は運転席に座り、緊急時動作はドライバーが行う必要がある。

② 自動運転に関する技術について座学研修。

H29-3-16(木) 長崎大学医学部グローバルヘルス総合研究棟

自動運転技術に関連した人工知能(AI)や仮想現実(VR)について実習形式の講義。

2) 会議開催

第 1 回 IoT-WG 会議 H28-12-15(木) 活動方針

第 2 回 IoT-WG 会議 H29-2-23(木) 今後の WG テーマ、IoT 事例紹介

第 3 回 IoT-WG 会議 H29-3-23(木) 生産管理システム導入企業、ものづくり補助金採択

I・6 長崎県/長崎市 IoT 推進ラボ

(1) 「地方版 IoT 推進ラボ」(経済産業省)

産官学連携により IoT 推進コンソーシアムが設立され、その下で IoT 推進ラボは、ラボ 3 原則[成長性・先導性、波及性(オープン性)、社会性]に基づき個別の IoT プロジェクトを発掘・選定し、企業連携・資金・規制の面から徹底的に支援されるとともに、大規模社会実装に向けた規制改革・制度形成等の環境整備が行われる。

同様に地方においても、IoT、ビッグデータ、AI等の活用、人材育成等を加速し、地域課題の解決とともに地域の経済発展を推進されることが期待される。

このため、地域企業に IoT 導入プロジェクトの創出を促す「地方版 IoT 推進ラボ」の普及を図る。

(2) 「長崎県 IoT 推進ラボ」(地方版 IoT 推進ラボとして認定)

1) 担当部署

長崎県企業振興課

2) 事業の概要

県内産業の競争力強化のため、IoT を活用した生産性向上、新商品、新サービス創出の取組を推進し、IoT 活用ノウハウの蓄積や IoT 人材の育成、要品・サービスの高付加価値化を図る。

i) 産官学等による「事業化可能性研究会」において、県内産業における IoT 新商品、新サービスの開発・活用の検討や一課題解決に係る助言等を実施、各方面に提案

- ii) セミナー開催や先進地視察によるIoTの普及啓発及び機運醸成
 - iii) 技術動向や外部資金等の最新情報の提供
 - iv) IoT人材の育成を図る講座等への支援
 - v) IoT分野の開発・活用に知見のある県内企業のネットワーク化
 - vi) 県内の先行する取組みにおける実証実験への支援
- 3) 評価指標
本事業を通じて、平成32年までにIoT活用プロジェクト3件を創出
- 4) 今後の展開
推進するプロジェクトについては、技術面と併せビジネス面からも検討を実施。以後は、PRやマッチング実施等による伴走型支援によるビジネス自立化を図る。
- 5) 構成メンバー
長崎県工業連合会、(一社)長崎県情報産業協会(NISA)、長崎大学、長崎総合科学大学、長崎県立大学、佐世保工業高等専門学校、日本政策金融公庫長崎支店、長崎県
- 6) 活動 出席:(委員) 佐藤副会長
- i) 第1回IoT活用可能性検討会、H28-12-14(水) 10:00~12:00、出島交流会館
 - ii) 第2回IoT活用可能性検討会、H29-3-7(火) 13:30~15:30、出島交流会館

(3)「長崎市IoT推進ラボ」(地方版IoT推進ラボとして認定)

- 1) 担当部署:長崎市商工部 産業雇用政策課
- 2) 事業の概要
- i) 長崎地域では、人口減少とともに労働力人口の減少が顕在化しており、地場製造業が地域内の生産額を維持するには生産性の向上が不可欠である。このため、IoTを活用した生産性向上の取組みを推進し、長崎地域製造業の競争力が強化される。
 - ii) 地域内の核となるプレイヤーで長崎市IoT推進ラボを組織し、相互に連携するとともに、国等の関連機関との連携を図りながら、長崎地域製造業へのIoT導入への取組みを加速。
- 3) 評価指標
本事業を通じて、平成32年度までにIoTを活用した製造業の活用事例を5件創出。
- 4) 今後の展開
地域内製造業のニーズの掘り起こし及びIT企業とのマッチングを図りながら、専門機関による技術面、経営面の提言を受けながらプロジェクトを創出していく。必要に応じて国等の補助制度を活用することでプロジェクトの自立化、事業化を支援し、製造業への活用成功事例として広く市内製造業への導入を図る。
- 5) 構成メンバー
長崎工業会(会員88社)、(一社)長崎県情報産業協会(NISA:会員70社)、長崎総合科学大学、長崎県立大学、長崎大学、長崎県工業技術センター、(株)十八銀行、(株)親和銀行
- 6) 活動 出席:(委員) 中野会長
- i) 第1回長崎市IoT推進ラボ準備会 H28-11-28(月) 13:30~14:30、長崎市役所職員会館会議室
 - ii) 第2回長崎市IoT推進ラボ準備会 H28-12-15(木) 10:00~11:10、長崎市役所議会会議室
 - iii) 第3回長崎市IoT推進ラボ準備会 H29-3-23(木) 10:00~11:30、長崎市役所議会会議室

I・7 ながさき ICT 戦略研究会(長崎県)

(1) 基本理念

ICT(情報通信技術)を本県のような様々な分野における諸課題に対して、積極的・重点的に利活用し、「人、産業、地域が輝くたくましい長崎県づくり」を推進。

(2) 推進期間

平成28年度から平成32年度まで(5年間)

(3) 目指すべき方向性

基本理念を実現するため、目指すべき方向性として4項目の「基本方針」を定め、各項目に関する施策を積極的に展開。

<基本方針>

- i) 利便性の高い電子行政の構築
- ii) 安全・安心に暮らせる地域社会の実現
- iii) ICTの利活用による産業の活性化
- iv) ICT社会を推進するための人材育成・基盤強化

(4) 戦略の構成・体系

基本方針に沿って、重点分野を定めるとともに、各分野における「戦略推進のための施策」を構築し、

本戦略を構成

『ICTを様々な分野における諸課題に対して、積極的・重点的に利活用し「人、産業、地域が輝くたくましい長崎県づくり」を推進する』

- i) 利便性の高い電子行政の構築（クラウド環境、オープンデータ・ビッグデータ、電子行政サービス）
- ii) 安全・安心に暮らせる地域社会の実現
- iii) ICTの利活用による産業の活性化
- iv) ICT社会を推進するための人材育成・基盤強化

(5) NISA 参加会員

正会員：(株)イシマル、エコー電子工業(株)、(株)NDKCOM、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株)、オフィスメーション(株)、十八ソフトウェア(株)、(株)ドウアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、(株)日本ビジネスソフト、不動技研工業(株)、(有)ランカードコム

特別賛助会員：(株)十八銀行、(株)親和銀行

なお、NISA はオブザーバー参加

(他 NISA 会員外) 長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、(公財)ながさき地域政策研究所、(株)長崎経済研究所、長崎県(企業振興課、情報政策課)

(6) 活動

第 1 回ながさき ICT 戦略会議 H28-7-04(月)、県庁第 2 別館会議室

第 2 回ながさき ICT 戦略会議 H29-1-20(金)、県庁本館会議室

I・8 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部)

近年めざましい発展を遂げている情報通信ネットワークは、その利便性一の向上から、社会・経済活動の根幹を支える重大なシステムとして機能するに至っている。

その一方で、サイバー犯罪、サイバーテロの増加、インターネット上の違法・有害情報の氾濫、コンピュータウイルスの蔓延が社会問題となり、サイバー空間に対する県民の不安感も急速に高まっている。

よって、長崎県サイバーセキュリティ相互協力協定を締結し、社会全体での効果的なサイバーセキュリティ対策を推進することにより安全安心なサイバー空間の実現を目指すものである。

(1) 目的

この協定は、協定機関の相互理解による高い信頼と協力関係に基づき安全安心なサイバー空間の実現を目指すことを目的とする。

(2) 連携、協力の内容

協定機関は、前条の目的を達成するため、相互に連携、協力し、次の各号に掲げる事項を推進する。

- 1) サイバー空間の脅威に関する情報の共有
- 2) サイバー空間の脅威への対処に係る技術的支援
- 3) サイバー空間の脅威に対処できる人材の育成
- 4) サイバー空間の脅威に立ち向かう社会全体の意識の向上
- 5) その他協定機関が必要と認めるサイバーセキュリティに関する事項

(3) 協定参加機関

長崎県、長崎県警察、長崎県商工会議所連合会、長崎県商工会連合会、長崎県中小企業団体中央会、(公財)長崎県産業振興財団、(一社)長崎県情報産業協会(NISA)、西日本電信電話(株)長崎支店、(株)ラック、トンドマイクロ(株)、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、及び佐世保工業高等専門学校

(4) 活動

1) 協定締結式 H29-1-24(火)、10:00～11:00、サン・プリエール、出席：中野会長

I・9 長崎県サイバーセキュリティ研究会

(1) 目的

長崎県内における情報関連産業の人材育成や会員相互の情報共有を目的とする。

(2) 事業

本会の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1) 情報共有のための研究会の開催
- 2) 情報セキュリティに関するセミナー・イベントの開催
- 3) 県内でのセキュリティコンテスト等の開催
- 4) 県外でのセキュリティコンテスト等へ出場する学生等の支援
- 5) その他、本会の目的の達成に必要な事業

(3) 構成メンバー

[会長] 長崎県立大学、[監事] (株)亀山電機、長崎総合科学大学
 [会員] 長崎大学、扇精光ソリューションズ(株)、オフィスメーション(株)、十八ソフトウェア(株)、(株)ユースフル、
 佐世保工業高等専門学校、(一社)長崎県情報産業協会、ネット・ウォーリアーズ

I・10 長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム、ワーキンググループ

(1)取組み

昨年7月末に立ち上げ、11のワーキンググループが設置され具体的な施策の検討の結果、「産業人材育成奨学金返済アシスト事業」、求人・求職支援サイト「Nなび」を立ち上げたほか、国からの地域創生人材育成事業の採択、プロフェッショナル人材戦略拠点の設置、誰もが働きやすい職場づくり実践企業認証制度などを事業化。

今年度は、長崎県の産業構造や人材育成の現状や課題を明らかにした上で、企業・学校・行政の役割と取組みを明確にした「長崎県産業人材育成戦略(仮称)」が策定され、戦略策定検討のためのワーキンググループである「造船業を中心とした機械・金属系製造業」「バックオフィス系企業」「宿泊業を中心とした観光関連産業」「情報サービス業」の4つの業種別検討チームが立上り、戦略策定が行われた。

(2)検討組織

1)長崎県産業人材育成戦略策定検討WG」

産業構造や産業人材育成に関する課題を掘り起こした上で、企業・学校・行政の役割と取組事項を明確にした産業人材育成戦略を策定。

2)情報サービス業の人材育成検討チーム

中心となる4分野 (①幅広い業種のIT化を促進する情報サービス業/②造船業を中心とした機械・金属系製造業/③オフィス系企業/④宿泊業を中心とした観光関連産業)の関係機関の実務担当者等で構成される検討チームが設置され、業種毎に具体的に検討。

(3)NISA 参加委員

1)長崎産業人材育成戦略策定検討WG:NISA 事務局

2)情報サービス業の人材育成検討チーム:(株)NDKCOM、オフィスメーション(株)、扇精光ソリューションズ(株)、NISA 事務局

(4)検討会議 NISA 委員が参加

H28-6-27(月) 県庁第2別館	第1回「産業人材育成戦略策定検討WG」
H28-7-27(水) コンフォートホテル長崎	第1回「情報サービス業の人材育成検討チーム」
h28-8-26(金) ホテルセントヒル長崎	第3回「長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム会議」
H28-9-9(金) 出島交流会館	第2回「情報サービス業の人材育成検討チーム」
H28-10-12(水) 長崎タクシー会館	第2回「産業人材育成戦略策定検討WG」
H28-11-17(木) 長崎タクシー会館	第3回「情報サービス業の人材育成検討チーム」
H29-2-14(火) 長崎タクシー会館	第3回「産業人材育成戦略策定検討WG」
H29-3-14(火) ホテルセントヒル長崎	第4回「長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム会議」

I・11 長崎県 H28 年度地域創生人材育成事業「企業説明会」

(1)いさはやコンピュータ・カレッジ H28-9-13(火)、14:50~16:20

1)対象者:1・2年生の120名

2)情報サービス業界の取組みについて:中野会長 (株)NDKCOM)

3)企業説明:アイティースペース(株)、(有)コラボソフト、(株)ドゥアイネット、ユニオンソフト(株)

(2)諫早商業高校 H29-3-13(月)、13:05~14:45

1)対象者:情報科1年生(40名)、2年生(39名)計79名

2)NISA 紹介:濱本副会長 (不動技研工業(株))

3)企業説明:アイティースペース(株)、ケービーソフトウェア(株)、(株)ドゥアイネット、(株)PAL 構造

I・12 長崎県工業連合会

(1)組織概要

県工業連合会は4つの工業会(長崎工業会、佐世保工業会、諫早工業会、松浦市工業会)の連合組織として、県下全域での相互交流等を通じて個々の会員企業の競争力強化とともに本県の製造業振興に取組む団体であり、県内の製造業及び関連企業が地域や業種・業態の枠を越えて相互に交流、研鑽を深め、経営基盤の強化とともに技術高度化や新分野進出などに意欲的に取組むことにより、参加企業の事業拡大や企業間取引の拡大を目指す。

(2)目的

県内企業の相互交流・研鑽を深め、個別企業の競争力の強化を図るとともに、県下全域での交流・連携を通じて、本件製造業の振興を図ることが目的。

(3) 事業内容

- 1) 県内企業の経営力・技術力の向上に関する事業
- 2) 県内企業の連携促進に関する事業
- 3) 情報の収集及び提供、行政等への施策提言並びに調査研究に関する事業
- 4) 本会の目的を達成するために必要な事業

(4) NISA 参加会員

長崎工業会、佐世保工業会、諫早工業会に NISA18 会員が参加。

なお、NISA は、支援会員として参加。

I・13 長崎県中小企業団体中央会関連

(1) 「平成 27/28 年度補正/中小企業・小規模事業者/ものづくり・商業・サービス革新事業」

- 1) 事業概要: 国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援する。

H28 年度補正では革新的サービス開発・試作品開発・精算プロセス改善に取組む「第四次産業革命型」が募集要項に規定された。

2) 公募期間と採択数

	期 間	長崎県採択数	NISA 会員採択数
i) H27-1 次公募:	H28/2/5~4/13	85	1
ii) H27-2 次公募:	H28/7/8~8/24	2	0
iii) H28 公募:	H28/11/14~H29/1/17	75	1

3) 採択 NISA 会員

地域採択審査委員会および全国採択審査委員会において厳正な審査が行われた結果、NISA 会員企業は下記 1 社 2 件であった。(中央会公表順)

i) ㈱亀山電機

H27補正: 図面の3次元可視化と3次元造形モデルを活用した設計/製造プロセスの改革

ii) ㈱亀山電機

H28補正: ビッグデータ・AIの活用によって事業売上を3倍まで向上させる設計プロセスの革新的改善

(2) 中小企業景況調査 (会員 4 社)

- 1) 平成 28 年度 第 1 四半期 (H28 年 04~06 月期)
- 2) 平成 28 年度 第 2 四半期 (H28 年 07~09 月期)
- 3) 平成 28 年度 第 3 四半期 (H28 年 10~12 月期)
- 4) 平成 28 年度 第 4 四半期 (H28 年 01~03 月期)

II 交 流 事 業

II・1 海外との交流事業

H28 年度事業無し

II・2 他団体・大学等との交流事業 (敬称略)

(1) ANIA 通常総会と関連行事 (敬称略) H28-6-16 (木)

出席: 平会長、中野理事出席、事務局長オブザーバー出席

場所: 横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ4F「茜」(横浜市西区北幸 1-3-23)

・正会員数 22 会員。出席 17 会員、委任状提出 5 会員。

1) 通常総会 14:00~14:45

議案 i) 平成 27 年度事業報告および平成 27 年度収支決算報告

ii) 平成 28 年度事業計画および平成 28 年度収支予算

iii) 理事・監事の選任について

・鬼山理事(福岡)、福井理事(広島)、平理事(長崎)から退任の申し出があり、後任の理事として

藤本宏文氏(福岡)、有馬猛夫氏(広島)、中野一英氏(長崎)を選任

・杉山監事(千葉)退任、後任に監事として吉田幸宏氏(千葉)を選任

◆講演会と懇親会は神奈川県情報サービス産業協会(KIA)の創立 30 周年に合流

2) 講演会 H28-6-16(木) 15:30~17:10

演題:「可能性への挑戦～大相撲の伝統とグローバル化」

講師:NHK 大相撲解説者・近畿大学経営学部客員教授 舞の海 秀平

3)懇親会 H28-6-16(木) 17:30～19:30

(2)第38回 全情連大会「ANIA あきた大会」(敬称略)

一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会(略称:ANIA)では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催し、平成28年は、「秋田」で開催。

NISA 出席者:今回はH29年に第39回長崎大会を開催する為の視察を兼ね、長崎大会「実行委員会」委員を中心に、11名が参加した。(実行委員会:委員長:中野会長、副委員長:石橋理事、平理事、委員:濱本副会長、須藤理事、梁瀬理事、濱口理事、石井理事、酒井監事、事務局長/事務局員)

開催:平成28-9-15(木)～16(金)、秋田キャッスルホテル

次回開催:H29年度 ANIA 全国大会は長崎県で開催することを、大会で発表された。

1) ANIA 大会式典 H28-9-15(木) 13:30～14:20

- i)開会宣言 (一社)秋田県情報産業協会 副会長 九島 正広
- ii)開催挨拶 (一社)秋田県情報産業協会 会長 江畑 佳明
- iii)主催者挨拶 (一社)全国地域情報産業団体連合会 会長 長谷川 亘
- iv)来賓挨拶
 - ・経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長 藤岡 信嘉
 - ・総務省 東北総合通信局 情報通信部長 向井 裕之
- v)表彰(連合会表彰)
 - ・永年勤続表彰
 - ・優秀役員表彰

2)基調講演「街づくりにおけるICTの利活用～総務省ICT街づくり推進会議の取り組みを中心に～」

住友商事(株) 相談役 岡 素之

3)リレートーク「地産地消 地方から世界へ！」

[モデレータ] 高田文夫事務所 放送作家 元祖爆笑王

[パネラー] (株)せん 代表取締役 水野 千夏

(株)ノークリサーチ 代表取締役社長 伊嶋 謙二

(株)エスツー 代表取締役 須藤 晃平

公立大学法人国際教養大学 助教 根岸 洋

4)竿灯鑑賞(17:00～17:40)

5)懇親会(18:30～20:00)

- i)開宴挨拶 (一社)秋田県情報産業協会 会長 江畑 佳明
- ii)来賓の挨拶(歓迎の挨拶) 秋田県知事 佐竹 敬久
- iii)鏡割り 来賓および主催者
- iv)次回大会の紹介 (一社)長崎県情報産業協会 会長 中野 一英
- v)中締め宣言 (一社)秋田県情報産業協会 副会長 熊谷 正司

(3)ANIA 新春交流会(東京サテライト展示交流会)(敬称略)

今回、ANIAはIT連盟の中核団体として日本のIT産業の健全な発展を推進するとともに、政府との双方向のコミュニケーションを実現しながら積極的に提言等を行うためにも一般社団法人日本IT団体連盟(IT連盟)と合同で開催

H29-2-9(木) 18:00～19:30 東海大学校友会館「望星の間」、霞が関3-2-5 霞が関ビル35階

Nisa5名出席:中野会長、須藤交流委員長、

東京に本社又は支店・営業所を持つ会員2名:(株)ビーオルグ 代表取締役社長 福田 勝彦/

(株)相武システム 代表取締役社長 和田 雅資

事務局長

来賓祝辞:

経済産業大臣政務官	中川 俊直
総務大臣	高市 早苗
厚生労働副大臣	橋本 岳
自由民主党 IT 戦略特命委員長	平井 卓也
公明党・ICT 社会推進本部長	高木 美智代
自民党	細田 博之

・東京サテライト展示交流会への出展:無

(4) ANIA 理事会

	日時	場所	出席	議題
第1回	H28-4-7(木) 12:15~14:15	東京国際フォーラム	平会長(ANIA 理事)	・平成 27 年度事業報告・収支決算について ・平成 28 年度事業計画・収支予算について ・日本 IT 団体連盟について (報告) 総会・全国大会について
第2回	H28-6-16(木) 14:45~15:00	横浜ベイシェラトンホテル & タワーズ	平会長(ANIA 理事) 中野副会長(次期 ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・副会長の互選について ・日本 IT 団体連盟について ・韓国情報保護産業協会との交流について
第3回	H28-9-15(木) 11:30~12:30	秋田キャッスルホテル	中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・日本 IT 団体連盟について ・来年の全国大会(30 周年記念事業の一環として実施)について、長崎県から開催日など報告。11/9,10 開催 (報告)あきた大会、新春交歓会、経費・予算執行状況
第4回	H29-2-9 16:00~17:30	東海大学交友会館	中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・平成 29・30 年度理事監事選任方法について ・平成 29 年度事業計画について ・平成 29 年度定期総会について ・全国大会および 30 周年記念について (報告)秋田大会実施、部会活動、経費・予算執行状況、日本 IT 団体連盟活動、新春交歓会事務連絡

(5) ANIA 事務局長連絡会議 (敬称略) 事務局長 出席

	日時	場所	出席	議題
第1回	H28-6-17(金) 10:00~12:00	神奈川県情報サービス産業協会	事務局長	・各協会の状況報告と質疑応答 ・日本 IT 団体連盟の活動について ・IPA との意見交換 ・北海道より、UIターンフェアについて
第2回	H28-9-16(金) 10:00~11:00	秋田キャッスルホテル	事務局長	・ANIA 事務局活動報告 ・各協会の状況報告と質疑応答 ・UIターンフェアについて ・IT 連盟の活動について
第3回	H29-2-10(金) 10:00~12:00	八重洲倶楽部	事務局長	・軽減税率補助金の説明 ・各協会の状況報告と質疑応答 ・サービス等生産性向上 IT 導入支援事業の説明

(6) JISA 西日本地区会(敬称略) H29-2-1(水) 14:00~18:30 出席:中野会長

1) 会議

- ①主催者挨拶: JISA 西日本地区会 代表幹事 難波 基久 ((株)両備システムズ 取締役)
- ②来賓挨拶: 中国経済産業局 局長 波留 静哉
- ③JISA 副会長挨拶: JISA 副会長 浜野 一典 様
- ③経済産業省の情報政策について: 経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 担当官
- ④JISA 本部報告: JISA 副会長 専務理事 小脇 一郎

2) 講演

テーマ:「子供たちに夢を 晴れの国・岡山からJリーグへ」
講師: (株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役 木村 正明

3) 懇親会

II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会 (敬称略)

県工技セの研究成果の説明を伺い、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

(1) 日 時: H28-12-20(火) 16:00~17:30

(2) 場 所: 出島交流会館 9階 展示交流室(長崎市出島町 2-11)

(3) 次 第

1) 挨拶 NISA 会長 中野 一英/工業技術センター 所長 馬場 恒明

- 2)工業技術センターの概要説明 工業技術センター 所長 馬場 恒明
- 3)おもな新規導入設備の紹介
- ・連成解析システム
 - ・熱分析装置
- 4)電子情報関係(組込み技術等)の開発事例紹介
- ・海洋産業に用いるデジタルデータと電力の非接触式伝送システムの開発
 - ・無線ネットワークを用いた振動解析装置の開発
 - ・大型工作物形状計測のための高精度位置補正技術の開発
 - ・光学特性の評価手法確立による非破壊計測装置の応用展開
 - ・電気・電子機器のノイズ対策技法の確立
 - ・機械フレームの軽量化設計支援ソフトウェアの開発
 - ・酵素利用技術とデジタイジング技術の長崎伝統菓子への適用と新製品開発
 - ・センサネットワークとビッグデータ解析を用いた応用技術開発
 - ・連成統合シミュレーション技術の開発と普及支援
- 5)意見交換

II・4 通常総会・講演会・交流会 (敬称略)

(1)第23回通常総会 H28-6-24(金) 13:45~15:00 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)出席会員数 正会員出席 30名、委任状 31名、合計 61名(総正会員 65社)

2)議題

- i)第1号議案 議事録署名人の選任の件
- ii)第2号議案 平成27年度 活動報告並びに決算・監査報告 承認の件
- iii)第3号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任の件
- iv)第4号議案 その他の案件

3)報告

- i)第1号報告 平成28年度事業計画
- ii)第2号報告 平成28年度収支予算書(正味財産ベース)
- iii)第3号報告 公益目的支出計画実施報告

(2)第23回通常総会 講演会 H28-6-24(金) 16:30~17:40 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)演題 :「企業・都市経営とICTのインターフェース」
《詳細はP.18、VI講演・セミナー事業(2)・1を参照》

2)講師:(公財)ながさき地域政策研究所 研究所長 菊森 淳文

3)聴講者 :70名(会員 65名、非会員 5名)

(3)新年度 会員交流会 H28-6-24(金) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 2F「妙見」

参加者:68名(会員 62名+来賓 6名)

(4)新春講演会 H29-1-26(木) 16:00~17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)演題 :「IT人材白書2016から読み解く IT人材の今と未来について」

《詳細はP.18、VI講演・セミナー事業(2)・2を参照》

2)講師 :(独)情報処理推進機構(IPA) IT人材育成本部 IT人材育成企画部 次長 下田 忠義

3)聴講者 :85名(会員 63名、非会員 22名)

(5)新春産学官交流会 H29-1-26(木) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 3F「妙見」

参加者:総数 89名(会員 59名+来賓 30名)

II・5 我が社の一押し (敬称略)

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、2回/年開催した。

(1)6月:通常総会時 :H28-6-24(金)

1)システムファイブ(株)「スモールオフィス向けエネルギー監視装置の紹介」

発表者:営業部 杉永 淳平

2)株)MHPSコントロールシステムズ「制御セキュリティの取り組みについて」

発表者:ICTソリューション統括室 室長兼長崎ICTソリューション部長 三條西 公朋

(2)1月:新春産学官交流会開催時 :H29-1-26(木)

1)アイティースペース(株)「日本情報セキュリティ推進協会(JISSA)によるISO27001(ISMS)認証取得の紹介」

発表者: 第1システム開発部 課長 北御門 哲
 2) (株)ディーエスブランド「進化するビジネスユース ホームページソリューションおりこうブログ」
 発表者: 取締役 清水 要一郎

II・6 ビジネスコラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進み、さらに「我が社の一押し」に参加して、発表企業が持っている「優れた技術・製品等」に理解を深め、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら、下記の通り開催した。

- (1) 第 29 回 H28-4-21(木) 18:30~20:00 《創作いざかや うちわ》
- (2) 第 30 回 H28-8-25(木) 18:00~20:00 《さくら其の1》
- (3) 第 31 回 H28-10-20(木) 18:00~20:00 《居酒屋「びっと」》
- (4) 第 32 回 H28-12-22(火) 18:00~20:00 《和彩ダイニング 厨船》

II・7 IPA 第 12 回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」協会会長賞授与

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、子どもたちがコンクール作品の制作を通して、インターネットの安全利用を意識できるよう、2016 年度も 12 回目のコンクールが独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)主催で実施され、昨年同様に後援し、地域賞(NISA 会長賞)を設定した。

『第 12 回 IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2016』の地域賞(NISA 会長賞)の入選作品を選定し表彰状と副賞を贈呈。

【標語部門】 「画面より 人との関わり 大切に」 金井田 恵美さん (長崎県立清峰高等学校 1 年)
 【ポスター部門】 「ネットの悪意に気をつけて」 後藤 由梨さん (長崎県立佐世保北高等学校 1 年)

III 研修事業

III・1 研修事業(長崎県後援)

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で就業者の研修ができなくなり、長崎県産業労働部のご支援により、平成 20 年度に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得、人材育成の一端を担うことができた。

平成 28 年度は、皆様からのアンケート結果を反映し 26 講座を設定し、2 講座は申込みが 3 名以下であった為中止し、24 講座を開講した。受講者は目標であった 200 人を大きく上回り 242 人となった。受講された企業の皆様に厚く感謝を申し上げます。

本事業は、NISA 一丸となって、佐藤研修技術委員長を中心に、峰松副研修技術委員長の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、成功裏に終了することができた。

研修計画から運営まで、ご協力頂いた会員の FJQS を始め FSC、AES に感謝申し上げます。

	講座名	開講日	日数	受講者数
技 術 系	ネットワークとセキュリティの基礎	5/18・19・20	3	11
	統計学を用いたデータ分析「SE 業務におけるデータ統計解析」	6/8・9・10	3	5
	プロジェクトマネジメントの技法	6/15・16・17	3	15
	データベース設計ワークショップ「概念設計、論理設計、物理設計」	6/29・30・7/1	3	14
	ネットワークの基礎技術と運用管理	7/6・7・8	3	6
	パフォーマンスを上げる SQL チューニング	7/13・14・15	3	11
	業務分析設計概説 「システム開発における要件定義のまとめ方」	7/20・21・22	3	10
	HTML5/CSS3 「マルチデバイス対応」 レスポンシブ Web デザイン制作講座	8/31・9/1・2	3	14
	IT 技術者必須のサーバ技術 3 日で学ぶ Linux(初級)	9/7・8・9	3	6
	システム企画・運用管理者のためのプロセス改善の実践 「受け身から攻めの運用管理へ」	10/5・6・7	3	5
	オブジェクト指向の本質に基づいたアプリケーション設計 「品質、コスト、改修を意識した設計」	10/12・13・14	3	18
	ネットワークトラブルの原因分析技術 「パケットキャプチャリングとトラフィック解析」	10/19・20・21	3	9
	開発者のための必須のセキュリティ技術	10/26・27・28	3	5
	サイバー攻撃におけるインシデント対応	11/9・10・11	3	9

	開発者のための必須のクラウド技術	11/16・17・18	3	6
	Windows Server 2012 システム管理	11/30・12/1・2	3	6
	IT 技術者必須のサーバ技術 Linux のしくみ(中級編)	12/7・8・9	(3)	中止
	プログラム開発におけるレビュー・テスト技術の定石	1/18・19・20	3	8
	Web 標準技術を用いたアプリケーション開発	2/1・2・3	(3)	中止
ヒューマン系	IT 技術者のための「論理的」に「伝える」意思疎通の技法	7/27・28・29	3	21
	信頼される SE に求められる問題解決スキル	8/3・4・5	3	11
	リーダーシップ力養成研修 「部下のやる気と協力を引き出し、Win-Winの関係を築く！」	8/17・18・19	3	12
	IT 技術者のための「誤解なく伝わる」文章化の技法	8/23・24	3	9
	心理学に基づいたプロジェクトメンバーの管理・育成法	9/14・15・16	3	7
	IT 技術者のための社外・社内交渉をWin-Winにするためのネゴシエーション	9/28・29・30	3	14
	IT 技術者に必要な論理思考力強化のためのロジカル・ライティング & ロジカル・シンキング習得	2/8・9・10	3	10
	合 計		72 日	242 名

Ⅲ・2 JISA 補助金による研修（「講演セミナー事業」）（敬称略）

JISA からの補助金「地域高度 IT 技術者育成」で下記を計画し、実施した。

(1) 制御システムのサイバーセキュリティ

日時：H28-12-15(木)

会 場：長崎三菱信用組合(りょうしん)本店5F 会議室

講 師：(株)MHPS コントロールシステムズ 村上 美恵子

受講者数：13 名

(2) IoT デバイス開発入門

日時：H29-1-12(木)・13(金)

会 場：一般社団法人 長崎県情報産業協会 研修室

講 師：平塚技術士設計事務所 所長 平塚 誠一郎

受講者数：12 名

Ⅲ・3 Java アプリケーション技術者養成研修を実施（「受託事業」）（敬称略）

「助成金を活用した技術者研修で業界No.1」のエンベックスエデュケーション社とタイアップし、厚労省「キャリア形成促進助成金(特定認定実習併用職業訓練コース)」を適用して、H28 年度の新入社員研修を NISA 研修室で 4 月 6 日～6 月 2 日まで実施した。助成金制度の活用により、本研修は企業負担がほぼ無く実施できた。

日時：H28-4-6(水)～6-2(木) (38 日間)

会場：Nisa 研修室

講師：(株)エンベックスエデュケーション 人材育成本部 増山 顕成

受講者 7 名

Ⅲ・4 九州経済産業局 九州・沖縄地方成長産業戦略PJ「軽量 Ruby 技術研修」(敬称略)

日時：H29-3-17(金)、13:00～17:00

会場：一般社団法人 長崎県情報産業協会 研修室

講師：SCSK九州(株) 組込みシステム部 サービスイノベーション 担当課長 石井 宏昌
サービスイノベーション 三牧 弘司

主催：九州経済産業局、福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議

共催：長崎県、(一社)長崎県情報産業協会、特定非営利活動法人軽量Rubyフォーラム

受講者：6 名

Ⅲ・5 「i(アイ)コンピデンシ ディクショナリ・ワークショップ(iCD-WS)」 (中小企業向け IT スキル標準)

「iコンピテンシ ディクショナリ」は、従来からのビジネスモデルをはじめ、セキュリティやクラウド、データサイエンスなど新時代のビジネスモデルに求められるタスクやスキル、役割分担例、職種をH27年度に新たに追加し、スキル標準・情報処理技術者試験に加えて、ITILやPMBOKなどIT関連の15のプロセス体系、知識体系(BOK)との参照性を確保している。そのため、各企業・組織は、より容易に目的に即したタスクモデル・スキルモデルを作成することができる。

H28年は、参加会員がなく実施できなかったがH26、H27年に「iCD ワークショップ」を長崎で開催し、参加会員6社(オフィスメーション(株)、(株)NDKCOM、不動技研工業(株)、(株)イシマル、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株))となった。

(1)活動を推進する為、情報交換会を実施、また福岡開催に参加した。

①長崎 第1回情報交換会 H28-11-9、14:30~17:00、市立図書館会議室

②福岡 第7回情報交換会 H28-9-7、13:00~17:30、福岡県 Ruby・コンテンツ産業振興センター

②福岡 第8回情報交換会 H29-2-14(火)、13:00~17:30、福岡県 Ruby・コンテンツ産業振興センター

(2)「iCD 企業認証委制度」認証書およびロゴ

iCDを活用して成果が出始めている企業を広く紹介し、日本におけるiCDを飛躍させることを目的にiCDに取組んでいる企業を認証する制度をスタートした。各社から提出されたカルテ内容を認証審査委員会で審査を行い、iCDの活用状況に応じてBlue/Silver/Gold段階で認証した。NISA会員参加企業は、Silver PlusあるいはSilverの認証を受けた。Silver PlusあるいはSilverの認証ロゴをHP・名刺等に記載し、企業イメージアップに利用できる。

Ⅲ・6 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナー(敬称略)

(1)セミナー

1) 社会人のための情報セキュリティ連続セミナー

i) 目的 情報化が一層進む中、サイバー攻撃や情報流出などの事故が後を絶たない。

情報セキュリティは社会のどのシーンにおいても必要な技術といえます。組織内で情報セキュリティを担当する人材育成のきっかけとしていただくことを目的とする。

ii) コース・開催日

①第1回 情報セキュリティ入門 H28-10-22(土)13:00~14:30

②第2回 情報セキュリティマネジメント H28-10-22(土) 14:40~16:10

③暗号技術の基礎 H28-11-12(土) 13:00~14:30

④第4回 暗号技術の実際 H28-11-12(土) 14:40~16:10

⑤第5回 ネットワークセキュリティ H28-12-10(土)13:00~14:30

⑥第6回 Web セキュリティ H28-12-10(土) 14:40~16:10

iii) 講師 長崎県立大学情報システム学部 情報セキュリティ学科 教授・准教授

iv) 場所 長崎県立大学シーボルト校 西棟 W103 講義室

v) 受講料 無料

Ⅳ 人材高度化能力開発事業(「助成金受給支援事業」)

H16年度からキャリア形成促進事業を始め、H23年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)、またH25年度には日本再生人材育成支援事業(奨励金)を実施したが、成長分野・日本再生(奨励金)制度はH25年度に終了した。H26年度から制度内容を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として、H28年度も実施した。NISA研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪であり、H28年度研修の認定申請手続きを積極的に推奨し申請の支援を行った。

事務費:「キャリア助成金10%、ただし、認定実習併用コースは1%」として実施。

※キャリア形成促進助成金

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われており、人材こそがIT業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取り組んでおられることに敬意を表すとともに、NISA事務局もご支援のため、次のことを続けている。

なお、キャリア形成促進助成金は、H27-10-1に制度の大幅な改定があり、成長分野等はキャリア形成促進助成金制度の「政策課題対応型訓練」に組込まれた。

H28年度は下記を実施。

(1)キャリア形成促進助成金

1) 助成金申請書様式へ計算式の追加搭載

改訂に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では、実施計画申請様式に Nisa 研修内容、支給申請では支給額計算式を搭載してわかりやすくまとめ、また、作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。

2) 訓練実施計画届書のチェック支援(H28-3~)

- i) キャリア形成促進助成金は、初回申請は研修を実施前であれば訓練開始の1ヵ月前まで、以降新規に研修受講の際は、訓練開始前までに「変更届」を提出が必要である。
- ii) H23 年度から提出先が労働局へと変更に伴い、申請は「訓練計画実施届」となり認定ではない。
- iii) 保管必須書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。
- iv) 研修実施場所は当初は決定せず、受講者数・インターネット接続環境等研修内容により決定する。このため決定次第、受講企業から研修場所を変更届としての提出が必要であったが、キャリア助成金申請の委任状を事務局に提出いただき、研修毎に事務局で纏め長崎労働局へ研修実施場所を提出し、受講企業の負担軽減と漏れの防止を図っている。
- v) 「訓練実施計画届」「変更届」等共同チェックの支援を、21 社に対し実施した。(H28-4 月から順次)

3) 支給申請書のチェック支援(確定支給額の10%、認定実習併用コースは1%:事務費)

- i) H26 年度より支給申請は「各訓練終了日の翌月から2ヵ月以内」に申請書の提出が必須となった。
- ii) 賃金および経費助成の支給額計算式を入れた申請様式を Nisa で作成し、認定企業に送付し、申請業務の合理化を図った。
- iii) 共同チェックについては、年間と通して「各研修の終了から2ヵ月以内」に実施した。
支給申請共同チェックは、研修が終了次第順次実施し、申請数は延べ80件であった。

(2) 留意点のメールによる配信と電話相談

V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進する。更に産業構造変革による生産性向上を行うには、IoTの取込みが欠かせない。

これらの実現のためには、ICT化、およびIoTに関する政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組みの情報を逸早く収集し広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関する情報を HP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域の ICT 化の取組みや施策の提案等を行う。

(NISA のホームページを地域における ICT 関連のポータルサイト化を推進)

(1) 提供項目:	1) 研修・講座	22 件	
	2) セミナー・シンポジウム	41 件	
	3) 報告会・講演会	6 件	
	4) 展示会	2 件	
	5) 政府および自治体からの通知等	22 件	
	6) 試験・コンテスト募集、その他	3 件	
	7) 関連団体(JISA・ANIA)情報	131 件	計 227 件

(2) 団体情報

情報源として、上部団体である一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、九州経済産業局、長崎県・市、長崎県産業振興財団、長崎県工業技術センターからの情報をメールで配信。

- 1) ANIA (全国地域情報産業団体連合会 会員速報)
 - 2) JISA メール
 - 3) 九州経済局からの情報
- 以上は、東京での開催が多いが、中央での動向を掴む意味で配信した。
- 4) 会員情報 など

(3) 主情報

長崎県工業技術センター		
1	電子情報技術セミナー(IoT、クラウド技術)	H28-4-19(火) 14:00~17:00
2	平成28年度研究成果発表会	H28-4-22(木) 13:30~17:00
3	3次元CAD/CAM 技術セミナー	H28-6-17(金) 13:00~17:00
4	信頼性評価技術セミナー	H28-6-24(金) 14:00~16:00
5	電気ノイズ試験に関する技術セミナー	H28-7-20(水) 13:30~15:00
6	ものづくりに関する講演会	H28-7-29(金) 13:30~16:30

7	第8回長崎県産学官テクノフォーラム	H28-11-8(水) 14:00~17:30
8	第21回先端技術導入促進セミナー	H28-11-9(水) 13:30~17:30
9	電源技術セミナー	H28-11-24(金) 14:00~16:30
10	第22回先端技術導入促進セミナー	H28-11-29(金) 13:30~17:30
11	3次元CAD/CAM技術セミナー	H28-11-30(水) 13:30~17:30
12	VCCIセミナー	H28-12-16(金) 13:30~17:00
13	H28年度長崎技術研究会活動報告会	H29-2-1(木) 14:00~17:20
14	電気用品安全法および関連試験機器に関する技術セミナー	H29-2-21(木) 13:30~16:00
15	パワーエレクトロニクス技術研究会	H29-2-23(木) 13:30~15:30
16	中小企業のための標準化の活用セミナー	H29-3-7(火) 13:30~16:30
17	MZプラットフォームセミナー	H29-3-13(月) 14:00~16:30
長崎県立大学		
18	第1回サイバーセキュリティ研究会	H28-6-4(土) 16:00~17:30
19	第1回情報セキュリティ・セミナー	H28-7-23(土) 14:00~16:30
20	社会人のための情報セキュリティ・セミナー	H28-10-22(土)から6回
21	これだけは知っておきたいインターネット安全教室	H28-11-19(土) 13:30~15:30
22	第2回情報セキュリティ・セミナー	H29-1-7(土) 14:00~16:00
長崎大学		
23	長崎IoT協働フォーラム2016	H28-8-1(月) 13:00~17:20
長崎総合科学大学		
24	第5回ながさき次世代ロボット研究会	H28-4-21(木) 16:00~18:30
25	21世紀の科学技術「海 神秘と挑戦 世界最深の生命圏と海底」観測	H28-12-10(土) 13:00~16:30
26	新技術創成研究所国際セミナー	H29-3-21(火) 14:00~18:00
長崎県サイバーセキュリティ研究会		
27	地域企業対象情報セキュリティ講演会 佐世保情報プラザ	H29-2-8(木) 13:00~16:30
28	ハイパー・コンバージド・インフラストラクチャ講座	H29-2-21(火) 13:30~15:30
29	次世代VRの可能性 ドローン撮影との融合による新たな領域	H29-3-14(火) 13:30~16:30
長崎県		
30	労働セミナー「ワーク・ライフ・バランス」	H28-6-15(水)、16(木) 13:30-15:30
31	中小企業向け個人情報保護法説明会	H28-7-26(火)、8-2(火)
32	ワーク・ライフ・バランス企業推進リーダー養成講座	H28-8-1(月)から3回
33	医療福祉機器の等の業界動向セミナー	H28-11-22(火) 13:30~16:30
34	医療福祉機器の等の業界動向セミナー	H28-11-22(火) 13:30~16:30
35	見えてきた「企業・地域のIoT戦略」セミナー	H28-11-24(木) 13:30~17:30
長崎県工業連合会		
36	中小企業のIoT導入の挑戦	H29-2-27(月) 14:00~16:00
長崎市		
37	スマートコミュニティフォーラム	H29-3-17(金) 14:30~19:00
長崎県中小企業団体中央会		
38	ものづくり連携促進セミナー	H28-12-12(月) 13:30~15:00
長崎県産業振興財団		
39	電力小売全面自由化説明会	H28-4-22(金) 14:00~15:45
40	企業成長を加速させるIT戦略	H28-12-1(木) 13:30~15:30

VI 講演・セミナー事業(「講演セミナー事業」)

ICT化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取り組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有しその情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

(1)事業内容

- 1)開催回数 : 2~4回/年
- 2)案内方法 : 県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人のHPに掲載

3) 対 象 : 会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)

4) 参加人数 : 40~80名

(2) 実施内容(敬称略)

1) 通常総会時講演会 H28-6-24(金) 16:30~17:40 ホテルセントヒル長崎

i) 演題 : 「企業・都市経営とICTのインターフェース」

ii) 講師 : (公財)ながさき地域政策研究所 研究所長 菊森 淳文

iii) 概要 : 長崎総合科学大学・長崎大学を中心として進めてこられた「ビッグデータ研究会」・「ながさきロボット研究会」の成果、講師の長崎総合科学大学での「情報と社会」・「経営情報システム」・「技術マネジメント(MOT)」の講義にも触れながら、改めて「経営とICTのインターフェース」について講演頂いた。

iv) 聴講者 : 70名(会員65名、非会員5名)

2) 新春講演会 H29-1-26(木) 16:00~17:30 ホテル セントヒル長崎

i) 演題 : 「IT人材白書2016から読み解くIT人材の今と未来について」

ii) 講師 : (独)情報処理推進機構(IPA) IT人材育成本部 IT人材育成企画部 次長 下田 忠義

iii) 概要 : IPAでの8年に亘るIT人材動向の調査を踏まえ、ビッグデータや人工知能といった技術革新の進展を背景としたIoT分野の技術者や企業の動向、求められる人材等について説明頂いた。
また、IT人材の新しい働き方であるフリーランスの人材像やヨーロッパと日本のIT人材の職種別の人材比較、IT企業、ユーザー企業、ネット企業のIT人材の動向及び教育機関におけるIT人材育成動向等、多様な調査結果についても説明頂いた。

iv) 聴講者 : 85名(会員63名、非会員22名)

3) IPA 中小企業情報セキュリティ講習能力養成セミナー

H28-11-17日(木)、13:00~16:30、ホテルセントヒル長崎

i) 講師 : (独)情報処理推進機構(IPA) 情報セキュリティセミナー講師 専門委員 平原 隆

ii) 内容 :

[第一部]・・・「10大脅威」や「映像で知る情報セキュリティ」を用いた講習会の組み立て方や効果的な進め方を説明。

[第二部]・・・セキュリティ関連ガイドラインやマイナンバーの安全管理措置等について、事例を交えて解説
[各種御案内]・・・講習会を開催される際の各種支援等を案内

iii) 主催 : (一社)長崎県情報産業協会(NISA)

iv) 後援 : 長崎県、長崎市、(公財)長崎県産業振興財団、長崎県中小企業団体中央会

v) 聴講者 : 45名(会員35名、会員外9名)

4) IT 融合化講演会 2016 in Nagasaki 「IoT~ビッグデータ~AI」

H28-12-1(木)、13:30~17:30、ホテルセントヒル長崎

i) 基調講演 : I AI~ビッグデータ~IoTの動向 NTTメディアインテリジェンス研究所 所長 小澤 英昭

ii) 講演

① 長崎の未来を拓くIoT技術 長崎大学 電気・情報学部門 教授 小林 透

② 教育ビッグデータ 九州大学 基幹教育院 准教授 島田 敬士

③ 機械学習とDeep Learning (株)富士通研究所 知識情報処理研究所 主管研究員 上田 晴康

④ パネルディスカッション (ファシリテータ:長崎総合科学大 教授 田中 義人)

iii) 主催 : 長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)

iv) 共催 : 長崎県、一般社団法人 長崎県情報産業協会(NISA)

v) 後援 : 長崎市、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、九州IT融合化システム協議会(ES-Kyushu)

vi) 聴講者 : 80名(会員34名、会員外46名)

5) 中小企業庁 適正取引推進講習会 H28-12-16(金)、13:00~16:40、NISA 研修室

i) 目的 : 適正な下請取引は、下請け事業者の利益確保を図るという目的から、中小企業政策の重要な柱となっており、下請事業者と親事業者における適正な取引関係の構築を通じて両者の「win-win」の体制づくりを目指す。

ii) 講師 : 弁護士 古閑 敬仁

iii) 内容 : ① 下請代金支払遅延等防止法(下請法)の概要について

② 消費税転嫁対策特別措置法の概要について

iv) 参加者 : 12名(会員8社9名、会員外3名)

Ⅶ 理事会(役員会) 主な項目のみ下記に記す (敬称略)

(1) 第1回 理事会(役員会) H28-4-21(木) 15:00~17:30、十八ソフトウェア(株)、議事録担当 須藤理事
役員以外の出席者:長崎県企業振興課 課長補佐 上野 忍、係長 中川 哲朗

- 1) H28 年度役員(理事・監事)の公募:公募結果で次回決定
- 2) H28 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し発表企業、および招待者について:承認。
- 3) ANIA全国大会開催(H29 年度、第 39 回):承認
- 4) H28 年度仮決算と仮法人税・仮消費税:承認
- 5) 商工会連合会主催ベトナム交流人財招致事業:承認

(2) 第2回 理事会(役員会) H28-5-26(木) 15:00~17:15、十八ソフトウェア(株)、議事録担当 梁瀬理事
役員以外の出席者:長崎県企業振興課 係長 中川 哲朗

- 1) H28 年度役員(理事・監事)の公募と新体制:承認
- 2) H28 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し等の確認:承認
- 3) H27 年度決算と法人税・消費税・公益目的支出計画実施結果 (監査 5/13 完了):承認
- 4) ANIA全国大会開催(H29 年度、第 39 回):承認
- 5) 平成 28 年度 JISA 地域活性化事業の募集 (6/30 申請締切):承認
- 6) 「IoT 技術に関する産学官連携フォーラム(主催:長大)」の共催について(佐藤副会長):承認
- 7) 第5回長崎デジタルコンテスト開催の後援(株アドミン):承認
- 8) 2016年度IPA中小企業情報セキュリティ講習能力養成セミナー開催について:承認

(3) 第3回 理事会(役員会) H28-6-24(木) 13:00~13:30、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 荒木理事
役員以外の出席者:なし

- 1) H28 年度役員(理事・監事)の新体制(確認):確認
- 2) H28 年度通常総会・講演会テーマ・わが社の一押し・交流会体制の確認:確認
- 3) 平成28年度 JISA地域活性化事業の実施 (募集:6/30申請締切):承認
- 4) 2016 年度 IPA 中小企業情報セキュリティ講習能力養成セミナー開催:承認
- 5) ANIA秋田大会開催(H28 年度、第 38 回)視察:承認

(4) 臨時理事会(役員会) H28-6-24(木) 14:55~15:05、ホテルセントヒル長崎

- 第1号議案 代表理事1名の選任の件:承認
第2号議案 副会長2名の選任の件:承認
第3号議案 委員長6名の選任の件:承認

(5) 第4回 理事会(役員会) H28-8-20(木) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 石井理事
役員以外の出席者:なし

- 1) [理事会前] 県警察本部からサイバーセキュリティについて説明
長崎県警察本部 警務部警務課
サイバーセキュリティ戦略室長 事務職員 吉岡 慎豪
課長補佐 (サイバーセキュリティ戦略担当) 警部 中尾 亜希子
- 2) H28 年度役員(理事・監事)新体制と委員会副会長の決定:承認
- 3) 平成 28 年度 JISA 地域活性化事業の実施申請:承認
- 4) 2016 年度 IPA 中小企業情報セキュリティ講習能力養成セミナー開催(11/17・木)について:承認
- 5) ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回):承認
- 6) ANIA秋田大会開催(H28 年度、第 38 回)視察:承認
- 7) 新入社員向け技術者研修の開催:承認
- 8) 長崎県産業人材育成戦略策定検討 WG:承認
- 9) 長崎県地域創生人材育成事業:承認
- 10) 長崎県地域創生人材育成事業に関連する企業説明会参加:承認
- 11) 長崎県工業技術センターとの意見交換会の開催について:承認
- 12) IT 融合化講演会2016 in Nagasaki~~ IoT~ビッグデータ~AI ~~~(佐藤副会長):承認

(6) 第5回 理事会(役員会) H28-9-21(木) 15:00~17:00、NISA 研修室、議事録担当 濱口理事
役員以外の出席者:県企業振興課 係長 中川 哲朗

- 1) [理事会前]市から長崎地方版 IoT 推進ラボについての説明
長崎市商工部次長 兼産業雇用政策課長 濱口 誠
産業雇用政策課 係長 山口 勝介
- 2) [理事会前]第 5 回長崎デジタルコンテスト開催結果報告

(株)アドミン 代表取締役 山口 知宏

- 3)平成 29 年新春講演会(1/26・木)テーマおよび講師の検討(企画委員会):承認
- 4)ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回):確認
- 5)IPA IT 人材白書に関するご協力:承認
- 6)平成28年度 JISA地域活性化事業の実施:承認
- 7)2016 年度 IPA 中小企業情報セキュリティ講習能力養成セミナー開催(11/17・木)について:確認
- 8)新入社員向け技術者研修説明会の開催ご参加依頼:確認
- 9)その他
 - ・長崎市 IoT 研究会「参加表明書」の提出:承認

(7)第6回 理事会(役員会) H28-10-29(木) 15:00~17:00、(株)NDKCOM 会議室、議事録担当 平手理事
役員以外の出席者:長崎県企業振興課 参事 有富 雄二
係長 中川 哲朗

- 1)[理事会前] **長崎県 IoT 推進ラボについての説明**
長崎県企業振興課 新事業支援班 参事 有富 雄二
係長 中川 哲朗
- 2)平成 29 年新春講演会(1/26・木)テーマおよび講師の検討(企画委員会):承認
- 3)平成 29 年新春「わが社の一押し」発表企業の検討:承認
- 4)ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回):承認
- 5)「長崎県 IoT 推進ラボ」(県企業振興課)参加:承認
- 6)NISAニュース18号の発行(梁瀬総務広報委員長):承認
- 7)IPA 情報セキュリティ講習能力養成セミナー(11/17・木)(参加確認):確認
- 8)IT 融合化講演会 2016 in Nagasaki -IoT~ビッグデータ~AI-(12/1 開催)について:参加確認
- 9)平成 28 年度 JISA 地域活性化事業の実施について:参加確認

(8)第7回 理事会(役員会) H28-11-24(木) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 山口理事
役員以外の出席者:なし

- 1)[理事会前] **長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定についての説明**
長崎県警察本部 警務部警務課 課長補佐 警部 中尾 亜希子(サイバーセキュリティ戦略担当)
- 2)[理事会前] **地域創生人材育成事業 平成 28 年度雇用型訓練について/**
雇用型訓練の募集についての説明
長崎県産業労働部 雇用労働政策課 地域雇用・人材育成班 主任主事 尾崎 実
長崎県産業労働部 産業政策課 産業人材育成班 統括人材育成コーディネーター 久保 賢
同 人材育成コーディネーター 平林 千秋
- 3)平成 29 年新春講演会(1/26・木)テーマおよび講師(企画委員会):確認
- 4)平成 29 年新春「わが社の一押し」発表企業の検討:承認
- 5)平成 29 年新春講演会・わが社の一押し・交流会体制:承認
- 6)平成 29 年新春産学官交流会のご招待者の検討:承認
- 7)ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回):承認
- 8)「IoT & 自動運転ビジネス化推進”WorkingGroup”設置について:承認
- 9)適正取引推進講習会開催:承認
- 10)H29 年度研修講座のアンケート調査(研修委員会):承認
- 11)T 融合化講演会 2016 in Nagasaki -IoT~ビッグデータ~AI-(12/1 開催):参加確認
- 12)協会事務局員の採用について:承認

(8)第8回 理事会(役員会) H28-12-20(火) 14:00~16:00、出島交流会館、議事録担当 三條西理事
役員以外の出席者:長崎県企業振興課 係長 中川 哲朗

- 1)平成 29 年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会、招待者」:確認
- 2)ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回):検討
- 3)長崎市 IoT 推進ラボの活動:確認
- 4)IoT & 自動運転ビジネス化推進ワーキンググループ活動:検討
- 5)NISA と高等学校等との連携事業:承認
- 6)ANIA 新春交歓会(2/9 開催)への出席者:承認
- 7)情報セキュリティ対策セミナー(主催:ドウアイネット)の後援:承認

(9)第9回 理事会(役員会) H29-1-26(木) 13:30~14:30、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 小原理事
役員以外の出席者:なし

- 1)平成 29 年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会」:確認

- 2) ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回):確認
- 3) 平成 29 年度研修計画(研修委員会):承認
- 4)「九州・沖縄地方成長産業戦略 PJ」軽量 Ruby 技術研修について(佐藤研修委員長):承認
- 5)H28 年度 NISA 活動トピックス検討審議:確認

(10)第 10 回 理事会(役員会) H29-2-23(木) 15:00~17:20、Nisa 研修室、議事録担当 峰松理事
役員以外の出席者:長崎県企業振興課 係長 中川 哲朗

- 1)[理事会前] 長崎県 IoT 事業化推進支援事業
長崎県企業振興課 係長 中川 哲朗
- 2) ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回)承認
- 3) ANIA 長崎大会での「サイバーセキュリティ演習(KIPS)実施」:実施しないこと決定
- 4)H29 年度理事会・役員会の開催日程
- 5)決算 予想と対策(収益事業):承認
- 6) NISA 委員会の H28 年度活動報告と H29 年度の各委員方針提出:承認
- 7)「長崎県主催講演会」の NISA 共催について(佐藤副会長):承認
- 8)「四国情産協企業とのビジネスマッチング」:承認
- 9)「長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定」に基づく協力:承認
- 10)「平成 29 年度 NISA 研修概要とスケジュール等」冊子の送付・HP 掲載:確認
- 11)「SE のための特許入門(JISA 刊)」冊子の送付:承認
- 12)H28 年度 NISA 活動トピックス:確認

(11)第 11 回 役員会 H29-3-23(木) 15:00~17:15、Nisa 研修室、議事録担当 荒木理事
役員以外の出席者:なし

- 1) ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回):報告・確認
- 2)H29 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し等の検討(4 月理事会で決定):承認
- 3)決算 予想と対策(3/23 現在)(収益事業):承認
- 4)NISA 委員会の H28 年度状況報告と来年度の各委員方針と運営:検討・確認
- 5)「四国情産協企業とのビジネスマッチング」:承認
- 6)H28 年度 NISA 活動トピックス:決定

